

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	新潟県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	六日町立六日町中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数 28
学級数	4	5	4	1	14	
生徒数	154	171	157	1	483	

研究の概要

1. 研究主題

共に学び合い、伸ばし合う生徒の育成 ～ 個の学びを深める学習集団づくり ～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1年生・数学・英語 2年生・数学・英語 ともにNRT学力調査の結果、学力向上の必要性があるため 基礎的事項からの学力を定着を図る必要があるため 学年が進むにつれ、習熟や定着の差が広がる傾向があるため
--

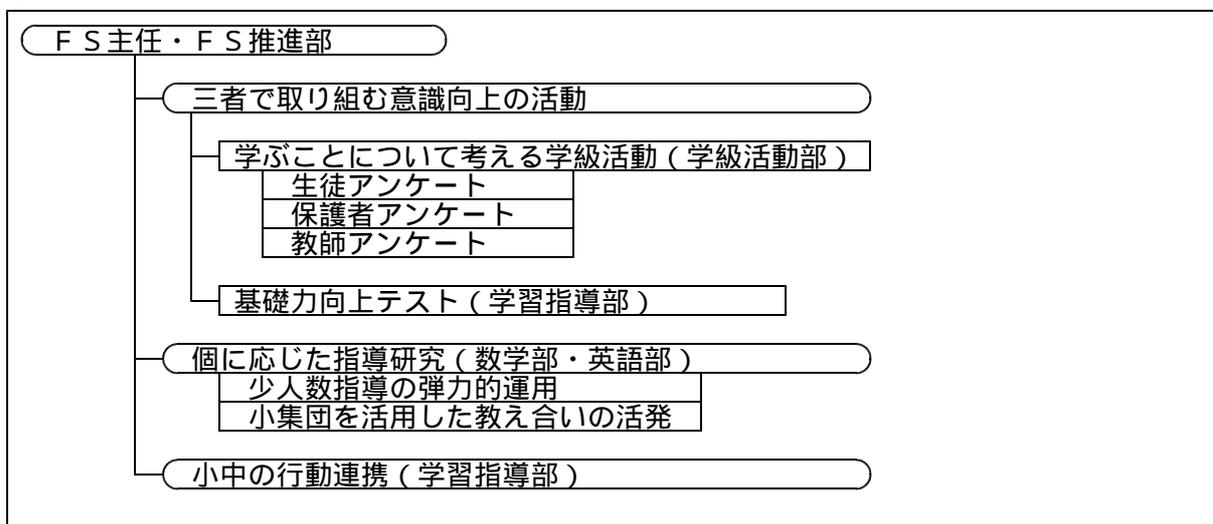
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 生徒・保護者・教師の三者が一体となった学力向上への取組</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者・教師の三者の意識の実態を探り、それを比較検討する。学習に対する意識を改善するには、どのような点に着目し意識を高めていくことが有効かその方策を検討する。 等質集団での少人数指導を数学と英語で実施し、個に応じた指導のために少人数指導を有効化する方途を探る。 基礎学力向上のための試行的な取組を行い、その結果を分析する。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者・教師それぞれに対して、学習に対する意識・学習の習慣・将来の展望などを問うアンケート調査を実施 上記の三者のアンケートの分析、分析結果を生徒と保護者に提示 数学と英語での等質集団による少人数指導の実施、少人数指導の授業公開による研修の実施 計算力・英単語・漢字力の基礎学力テストを実施しその結果を分析 絶対評価について教科間での情報交換と各教科の評価について検討 小学校との互いの授業公開
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 共に学び合い、伸ばし合う生徒の育成 ～ 個の学びを深める学習集団づくり ～</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年度の三者のアンケートの分析結果をもとに学級活動で学習意識を向上させるための授業を計画に位置付ける。三者のアンケートを2学期に実施し学習意識の改善が行われているかを調査する。 少人数指導の研究と実施（チームティーチングと習熟度別編成を指導計画に位置付け） <p>研究の内容・方法</p>
--------	---

- ・生徒・保護者・教師のアンケートの実施と前年度比較をし、その結果を踏まえ、学習意識向上のための授業編成と便りでの発信。
- ・個に応じた指導のための、教え合い学習の促進、学習集団作り、学習リーダーの育成。
- ・学級を母体にした少人数指導の学習内容に応じた学習形態の活用
- ・小中の行動連携として、学習集団育成の情報交換と、授業交流

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

三者一体となった学習意識の改革

生徒・保護者・教師それぞれに学習に関するアンケート調査を実施した。その結果を分析し、グラフ化して、学習意識改革のための学級活動を行った。また、保護者にはFS通信として分析結果を配付した。

個に応じた指導の工夫

英語6回、数学4回、学級活動1回の主事訪問での教科研究を行った。等質編成での少人数指導の実践を行い、個に応じた指導のための習熟度別プリントの作成や、学習小集団の活用などの研究を重ね、中間発表会で授業公開を行った。少人数指導について郡内の全中学校職員にアンケート調査を依頼し、過去の経験から少人数指導の形態別の長所や短所・留意点などをまとめ、分析した。

小中の連携

個に応じた指導のための授業を、連携小学校職員に参観してもらい(計9回)情報交換を行った。

学習習慣の定着のための指導事項の情報交換を行い共通理解を図った。

2. 今後の課題

生徒の学びへの姿勢を向上させるためには「どのような情報の提示が必要なのか。」「どのようにして学びへの意識を深めるべきか。」「どのようにして実践力に結びつけていくか。」の3点を明らかにする。

「少人数にしても教師対個々だと、個に応じた指導にはならない。」という今年度の成果を基に、生徒個々が関係を持ち教え合いができる学習小集団の育成を行う。

今年度の等質編成での少人数指導の成果を基に、学級を母集団にした少人数指導を指導計画の中に位置づけ、弾力的な活用を図る。

小中連携で、発達段階に応じた学習集団の育成や、学習週間の育成について情報交換を図る。

学力把握のための学校としての取組

C R T 学力調査

目的 全国標準に対しての学力の実態を把握する。
実施内容 国語、社会、数学、理科、英語の5教科
時期 4月

N R T 学力調査

目的 全国標準に対しての学力の実態を把握する。
実施内容 国語、社会、数学、理科、英語の5教科
時期 2月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度

郡内全中学校に少人数指導アンケート依頼をし、その結果を分析して一覧表にまとめ、郡内全中学校に配付。

英語の授業研究6回、数学の授業研究4回、学級活動1回を郡内各校に公開する案内を出し、他校職員の参観を得て研究を進めた。

F Sリーフレットを作成し、全保護者及び中間発表会参会者に配付した。

研究会開催実績

1年次中間発表会

日時：平成16年1月16日(金)13:50～16:40

主な内容：学習意識改善の学級活動、数学の少人数指導、英語の少人数指導等の授業の公開。研究の概要発表

対象：郡内各小中学校、県内F S校、関係機関指導主事、本校保護者

平成16年度

英語の授業研究2回、数学の授業研究2回、学級活動の授業研究1回を郡内各校に案内し、公開する。

研究会開催予定

2年次発表会

日時：詳細は未定 10月上旬を予定

主な内容：学習意識改善の学級活動、数学の少人数指導、英語の少人数指導等の授業の公開。授業協議会。研究の概要発表

対象：郡内各小中学校、県内F S校、関係機関指導主事、本校保護者

研究経過と研究のまとめをWEBページで公開する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無